



報道機関各位

リリース日：2022年11月16日

タイトル：**2022年11月19日(土)・20日(日)**

学校法人尚絅学院 創立130周年記念

創作劇「霜の朝 わたしは峠を越える

－ブゼル先生伝II－」公演のお知らせ

(於：東北大学百周年記念館 川内萩ホール)

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚絅学院は2022年11月24日に**創立130周年**を迎え、記念事業のひとつとして、
創作劇『霜の朝 わたしは峠を越える－ブゼル先生伝II－』を上演いたします。

この公演は10年前に120周年記念事業として公演した『GOODNESS－ブゼル先生伝II－』の続編として、前回と同様にNPO法人劇団仙台小劇場の石垣政裕氏を作・演出に迎え、尚絅を離れ、伝道のため遠野に赴任したブゼル先生と地元の人々との交流を描きます。同窓生、在学生、教職員や尚絅を応援してくれる方々が役者・コーラスとして出演し、創立130年の節目に本公演を”ALL尚絅”で創り上げます。

つきましてはご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

■ 公演概要

- ・開催日：2022年11月19日(土) ①10:00～(9:30開場)／②14:00～(13:30開場)
2022年11月20日(日) ③13:00～(12:30開場)
- ・場 所：東北大学百周年記念館 川内萩ホール【住所：仙台市青葉区川内40】
- ・参加費：無料

【あらすじ】

1988年5月、遠野教会牧師の太田は、ブゼル先生の銅像を遠野聖光幼稚園の新しい園舎に移動する際に「1922年」と彫られた箱を見つける。それはブゼル先生が幼稚園を創った際に埋めたタイムカプセルだった。そこに収められていた当時の新聞や写真、ブゼル先生の愛用していた讃美歌集。尚絅女学校を辞した後、地元の人々に慕われながら幼児教育に熱心に取り組み、伝道していくブゼル先生の姿が、オリジナルの音楽に乗って、タイムカプセルの開封の場面から一気に100年の月日を遡る…。

■ ホームページ(URL)

- 創作劇「霜の朝 わたしは峠を越える－ブゼル先生伝II－」_紹介記事(URL)：

<https://ap.shokei.jp/information/detail.php?p=698>

- 尚絅学院創立130周年記念 特設ページ (URL)：

<https://ap.shokei.jp/130th/>

< 本件に関する問い合わせ先 >

学校法人尚絅学院 創作劇実行委員会事務局
(担当：佐々木・松澤)
TEL：022-381-3497 (経営管理部人事課)
メール：shokei130-buzzell@shokei.ac.jp

タイムカプセルが教える、 遠野でのブゼル先生

1920年、尚綱女学校の初代校長であったブゼルは仙台を離れ、岩手県遠野へと赴任する。
ブゼルが遠野の人々とともに紡いだ想いが、彼女の創った最初の幼稚園舎にタイムカプセルとなって埋められていた。
10年前に感動を呼び起こした前作『GOODNESS -ブゼル先生伝-』に続いて、
ブゼル先生の遠野での物語が幕を開ける。



*The Origin
1921*



学校法人尚綱学院 創立130周年記念

霜の朝 わたしは峠を越える

— ブゼル先生伝II —

2022

11.19 (土) ① 10:00~ / ② 14:00~ / 20 (日) ③ 13:00~

開場時間

全公演 開演30分前~

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

無料でご覧いただけますが、整理券が必要です。下記URL、又はメールにてお申込みください。

【整理券のお申込み】<https://forms.gle/sjLRyMksHqB1YSVz5> Mail:shokei130-buzzell@shokei.ac.jp

同窓生の皆様は同窓会事務局へお問い合わせください TEL・FAX 022-264-5830

【主催】学校法人尚綱学院 【共催】NPO法人 劇団仙台小劇場

【協力】尚綱学院同窓会、尚綱学院後援会

【後援】遠野市、富谷市・内ヶ崎作三郎記念館、吉野作造記念館、日本パプテスト同盟、宮城県教育委員会、名取市教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、仙台リビング新聞社、khh東日本放送、仙台放送、tbc東北放送、ミヤギテレビ、Date fm

同窓生、生徒・学生、教職員、
学校関係者が共につくる

創作劇

作・演出 / 石垣 政裕
舞台監督 / 小松 慶子
作曲 / 高橋 直人
音楽監督 / 佐藤 淳一

お問い合わせ

創作劇『霜の朝 わたしは峠を越える -ブゼル先生伝II-』実行委員会事務局 (尚綱学院経営管理部内) 担当:佐々木・松澤
TEL:022-381-3497 FAX:022-381-3335 <https://ap.shokei.jp/>

理事長挨拶

学校法人尚綱学院理事長 佐々木 公明

創立130周年記念事業として、創作劇公演を行う目的は、私たちが尚綱学院の建学の精神を改めて確認し、本学院への誇りと愛着を持つことです。今回の創作劇「霜の朝 わたしは峠を越える～ブゼル先生伝Ⅱ」は、初代校長ブゼル先生の尚綱での活動とその後の遠野での活動を繋ぐものです。

創立120周年に公演された「Goodness—ブゼル先生伝—」では、ブゼル先生が尚綱の生徒やバイブル・クラスの学生たちを、「Be good」（良き人になれ）と熱く指導しました。このGoodnessが建学の精神として継承されてきました。

勿論、尚綱時代のブゼル先生の情熱それ自体は時を超えるほど圧倒的なものでしたが、尚綱を去った後の遠野時代のブゼル先生の生き方が幸福で輝いていなかったなら、現代においてもなおブゼル先生の教育理念が新鮮さを保ち語られることはないでしょう。

しかし、15年間の遠野での生活で、ブゼル先生は「Be good (to people in Tono)」を自ら実践して、遠野の人々を愛し、人々に愛され、本当に幸福でした。だから、ブゼル先生が晩年仙台に移った後でも、「遠野に行きたい。私は遠野を愛している」と叫ぶのです。まさに、ブゼル先生の尚綱での活動とその後の遠野での活動は直接的に繋がり、両者が尚綱の建学の精神の強固な基を形成しているのです。

あらすじ

1988年5月、牧師の太田は、ブゼル先生の銅像を遠野聖光幼稚園の新しい園舎に移動する際に「1922年」と彫られた箱を見つける。それはブゼル先生が幼稚園を創った際に埋めたタイムカプセルだった。

そこに収められていた当時の新聞や写真、ブゼル先生の愛用した讃美歌集。尚綱女学校を辞したあと、地元の人々に慕われながら幼児教育に熱心に取り組み、伝道していくブゼル先生の姿が、オリジナルの音楽に乗って、タイムカプセルの開封の場面から一気に、100年の月日を遡る…。

学校法人 尚綱学院創立130周年記念 霜の朝 わたしは峠を越える — ブゼル先生伝Ⅱ —

主な登場人物

ブゼル先生

尚綱女学校の初代校長。1920年に岩手県遠野に赴任し、伝道を行った。

太田牧師

遠野教会の牧師。ブゼル先生の埋めたタイムカプセルを発見する。

庄司 惣兵衛

ブゼル先生の伝道活動を支えるため、仙台から同行する。

三宅 はる

幼稚園事業を手伝うため、ブゼル先生とともに仙台から遠野にやってくる。

佐々木 兵衛

幼稚園の書記として採用され、ブゼル先生のあらゆることの手伝いを行う。

おみよ

「ブゼル先生伝Ⅰ」にも登場した架空の人物。ブゼル先生の仙台での教え子で、先生を慕い、会うため遠野を訪れる。

信介

架空の人物。遠野の道路脇で泣いているところをブゼル先生に拾われる。

その他大勢の皆さん

日時 2022年11月19日① 10:00～ ② 14:00～
20日③ 13:00～

会場 東北大学百周年記念会館
川内萩ホール

整理券お申し込み先(無料でご覧いただけますが、整理券が必要ですので、以下申し込みください)

整理券の枚数には限りがありますので、お早めにお申し込みください。

創作劇『霜の朝 わたしは峠を越える—ブゼル先生伝Ⅱ』実行委員会事務局(担当:佐々木・松澤)

〒981-1295 名取市ゆりが丘4-10-1 学校法人尚綱学院『霜の朝 わたしは峠を越える—ブゼル先生伝Ⅱ』実行委員会事務局

TEL:022-381-3497 FAX:022-381-3335 ■<https://ap.shokei.jp/>

※同窓生の皆様は同窓会事務局へお問い合わせください。TEL・FAX:022-264-5830

▼下記QRコードより▼
整理券のお申し込みも
受付しております



『霜の朝 わたしは峠を越える—ブゼル先生伝Ⅱ』鑑賞整理券申込用紙

『霜の朝 わたしは峠を越える—ブゼル先生伝Ⅱ』の公演に申し込みます。

お名前	申込日	年 月 日					
		必要枚数	11/19① ①10:00～	枚	11/19② ②14:00～	枚	11/20③ ③13:00～
ご住所	〒	<input type="checkbox"/> 同窓生	<input type="checkbox"/> 一般				
		<input type="checkbox"/> 旧教職員	<input type="checkbox"/> その他()				
ご連絡先(お電話番号・E-Mail等)							

※FAX、メール、郵送等にてお申し込みください。 ※整理券は申し込み受付後、記載されたご住所へ郵送させていただきます。